

パターン 1-1 (1年決算の第1期) : 初回設定時に有価証券届出書を提出した後に、半期報告書及び訂正有価証券届出書を提出

訂正有価証券届出書の添付インライン XBRL には、半期報告書に記載する財務諸表と同様の財務諸表を記載します。DEI は財務諸表と整合するように修正します。

<設定例 : 第1期 自 YYY1年4月1日 至 YYY2年3月31日の場合>

	有価証券届出書 (初回設定、財務諸表なし)	半期報告書 (YYY1年9月 第1期 中間)	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL 作成時の留意点
インライン XBRL ファイル名				
報告対象期間期末日	第1期計算期間又は第1期中間計算期間の コンテキストが必要な場合 (※1) : YYY2-03-31 それ以外 : YYY1-06-20	YYY1-09-30	YYY2-03-31	第1期計算期間期末日を設定
報告書提出回数	01	01	02 (※3)	
報告書提出日	YYY1-06-20	YYY1-12-20	YYY1-12-20	訂正の提出日を設定
インライン XBRL 表紙				
提出日	YYY1-06-20	YYY1-12-20	YYY1-06-20	当初提出日を設定
DEI				
提出書類情報				
当会計期間				
当事業年度開始日	第1期計算期間又は第1期中間計算期間の コンテキストが必要な場合 (※1) : YYY1-04-01 それ以外 : nil	YYY1-04-01	YYY1-04-01	半期報告書と同様に設定 (第1期中間計算期間が DEIの当会計期間になりま す。)
当会計期間終了日	第1期中間計算期間又は第1期中間計算期 間末日のコンテキストが必要な場合 (※ 1) : YYY1-09-30 それ以外 : nil	YYY1-09-30	YYY1-09-30	
当会計期間の種類	nil	HY	HY	
当事業年度終了日	第1期計算期間又は第1期計算期間末日の コンテキストが必要な場合 (※1) : YYY2-03-31 それ以外 : nil	YYY2-03-31	YYY2-03-31	
比較対象会計期間				
前事業年度開始日	nil	nil	nil	半期報告書と同様に設定
比較対象会計期間終了日	nil	nil	nil	
前事業年度終了日	nil	YYY1-03-31 (※2)	YYY1-03-31 (※2)	
次の四半期又は中間期の会計期間				
次の事業年度開始日	nil	nil	nil	
次の四半期又は中間期の会計 期間終了日	nil	nil	nil	
提出回数	1	1	2 (※3)	

※1 財務諸表を記載していないにもかかわらず、計算期間又は計算期間末日のコンテキストを用いる場合があります。

例) 【ファンドの経理状況】に第1期の監査の予定等を記載する場合

※2 損益及び剰余金計算書に記載する期首剰余金又は期首決算金等、期首残高に係る勘定科目をタグ付けする場合、「第1期の期首日-1日」を設定

※3 他に訂正有価証券届出書の提出が無かったとの前提

パターン1-2（1年決算の第2期）：有価証券届出書を提出した6カ月後に、半期報告書及び訂正有価証券届出書を提出

訂正有価証券届出書の添付インライン XBRL には、当初提出時に記載した財務諸表に加えて、次の半期の財務諸表を記載します。DEI は次の半期の財務諸表に係る設定を追加します。

<設定例>

	有価証券届出書 (YYY2年3月 第1期 財務諸表記載)	半期報告書 (YYY2年9月 第2期中間)	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL 作成時の留意点
インライン XBRL ファイル名				
報告対象期間期末日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-03-31	最近計算期間末日を設定
報告書提出回数	01	01	02 (※)	
報告書提出日	YYY2-06-20	YYY2-12-20	YYY2-12-20	訂正の提出日を設定
インライン XBRL 表紙				
提出日	YYY2-06-20	YYY2-12-20	YYY2-06-20	当初提出日を設定
DEI				
提出書類情報				
当会計期間				
当事業年度開始日	YYY1-04-01	YYY2-04-01	YYY1-04-01	
当会計期間終了日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-03-31	
当会計期間の種類	FY	HY	FY	
当事業年度終了日	YYY2-03-31	YYY3-03-31	YYY2-03-31	
比較対象会計期間				
前事業年度開始日	nil	YYY1-04-01	nil	
比較対象会計期間終了日	nil	YYY1-09-30	nil	
前事業年度終了日	YYY1-03-31 (※1)	YYY2-03-31	YYY1-03-31 (※1)	
次の四半期又は中間期の会計期間				
次の事業年度開始日	nil	nil	YYY2-04-01	半期報告書の中間計算期間が訂正有価証券届出書において次の中間期になります。
次の四半期又は中間期の会計期間終了日	nil	nil	YYY2-09-30	
提出回数	1	1	2 (※2)	

※1 損益及び剰余金計算書に記載する期首剰余金又は期首決算金等、期首残高に係る勘定科目をタグ付けする場合、「第1期の期首日-1日」を設定

※2 他に訂正有価証券届出書の提出が無かったとの前提

パターン 1-3 (1 年決算の第 3 期) : 有価証券届出書を提出した 6 カ月後に、半期報告書及び訂正有価証券届出書を提出

訂正有価証券届出書の添付インライン XBRL には、当初提出時に記載した財務諸表に加えて、次の半期の財務諸表を記載します。DEI は次の半期の財務諸表に係る設定を追加します。

< 設定例 >

	有価証券届出書 (YYY3 年 3 月 第 2 期 財務諸表記載)	半期報告書 (YYY3 年 9 月 第 3 期中間)	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL 作成時の留意点
インライン XBRL ファイル名				
報告対象期間期末日	YYY3-03-31	YYY3-09-30	YYY3-03-31	最近計算期間末日を設定
報告書提出回数	01	01	02 (※)	
報告書提出日	YYY3-06-20	YYY3-12-20	YYY3-12-20	訂正の提出日を設定
インライン XBRL 表紙				
提出日	YYY3-06-20	YYY3-12-20	YYY3-06-20	当初提出日を設定
DEI				
提出書類情報				
当会計期間				
当事業年度開始日	YYY2-04-01	YYY3-04-01	YYY2-04-01	
当会計期間終了日	YYY3-03-31	YYY3-09-30	YYY3-03-31	
当会計期間の種類	FY	HY	FY	
当事業年度終了日	YYY3-03-31	YYY4-03-31	YYY3-03-31	
比較対象会計期間				
前事業年度開始日	YYY1-04-01	YYY2-04-01	YYY1-04-01	
比較対象会計期間終了日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-03-31	
前事業年度終了日	YYY2-03-31	YYY3-03-31	YYY2-03-31	
次の四半期又は中間期の会計期間				
次の事業年度開始日	nil	nil	YYY3-04-01	半期報告書の中間計算期間が訂正有価証券届出書において次の中間期になります。
次の四半期又は中間期の会計期間終了日	nil	nil	YYY3-09-30	
提出回数	1	1	2 (※)	

※他に訂正有価証券届出書の提出が無かったとの前提

第 4 期以降は、第 3 期と同様です。

パターン 2-1 (6 カ月決算の 1 年目) : 初回設定時に有価証券届出書を提出した後に、有価証券報告書及び訂正有価証券届出書を提出

訂正有価証券届出書の添付インライン XBRL には、有価証券報告書に記載する財務諸表と同様の財務諸表を記載します。インライン XBRL ファイル名、DEI は財務諸表と整合するように修正します。

<設定例：第 1 期 自 YYY1 年 4 月 1 日 至 YYY1 年 9 月 30 日の場合>

	有価証券届出書 (初回設定、財務諸表なし)	有価報告書 (YYY1 年 9 月 第 1 期)	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL 作成時の留意点
インライン XBRL ファイル名				
報告対象期間期末日	第 1 期計算期間のコンテキストが必要な場合 (※1) : YYY1-09-30 それ以外 : YYY1-06-20	YYY1-09-30	YYY1-09-30	第 1 期の期末日を設定
報告書提出回数	01	01	02 (※3)	
報告書提出日	YYY1-06-20	YYY1-12-20	YYY1-12-20	訂正の提出日を設定
インライン XBRL 表紙				
提出日	YYY1-06-20	YYY1-12-20	YYY1-06-20	当初提出日を設定
DEI				
提出書類情報				
当会計期間				
当事業年度開始日	第 1 期計算期間のコンテキストが必要な場合 (※1) : YYY1-04-01 それ以外 : nil	YYY1-04-01	YYY1-04-01	有価証券報告書と同様に設定
当会計期間終了日	nil	YYY1-09-30	YYY1-09-30	
当会計期間の種類	nil	FY	FY	
当事業年度終了日	第 1 期計算期間又は第 1 期計算期間末日のコンテキストが必要な場合 (※1) : YYY1-09-30 それ以外 : nil	YYY1-09-30	YYY1-09-30	
比較対象会計期間				
前事業年度開始日	nil	nil	nil	有価証券報告書と同様に設定
比較対象会計期間終了日	nil	nil	nil	
前事業年度終了日	nil	YYY1-03-31 (※2)	YYY1-03-31 (※2)	
次の四半期又は中間期の会計期間				
次の事業年度開始日	nil	nil	nil	
次の四半期又は中間期の会計期間終了日	nil	nil	nil	
提出回数	1	1	2 (※3)	

※1 財務諸表を記載していないにもかかわらず、会計期間又は会計期間末のコンテキストを用いる場合があります

例) 【ファンドの経理状況】に第 1 期の監査の予定等を記載する場合

※2 損益及び剰余金計算書に記載する期首剰余金又は期首決算金等、期首残高に係る勘定科目をタグ付けする場合、「第 1 期の期首日-1 日」を設定

※3 他に訂正有価証券届出書の提出が無かったとの前提

ファンドの計算期間が 6 カ月未満の場合、特定期間は 6 カ月となるので、本パターンと同様です。

パターン 2-2 (6 カ月決算の 2 年目) : 有価証券届出書を提出した 6 カ月後に、有価証券報告書及び訂正有価証券届出書を提出

訂正有価証券届出書の添付インライン XBRL には、有価証券報告書に記載する財務諸表と同様の財務諸表を記載します。インライン XBRL ファイル名、DEI は財務諸表と整合するように修正します。

< 設定例 >

	有価証券届出書 (YYY2 年 3 月 第 2 期 財務諸表記載)	有価証券報告書 (YYY2 年 9 月 第 3 期)	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL	訂正有価証券届出書 添付インライン XBRL 作成時の留意点
インライン XBRL ファイル名				
報告対象期間期末日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-09-30	最近計算期間末日を設定
報告書提出回数	01	01	02 (※)	
報告書提出日	YYY2-06-20	YYY2-12-20	YYY2-12-20	訂正の提出日を設定
インライン XBRL 表紙				
提出日	YYY2-06-20	YYY2-12-20	YYY2-06-20	当初提出日を設定
DEI				
提出書類情報				
当会計期間				
当事業年度開始日	YYY1-10-01	YYY2-04-01	YYY2-04-01	有価証券報告書と同様に設定
当会計期間終了日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-09-30	
当会計期間の種類	FY	FY	FY	
当事業年度終了日	YYY2-03-31	YYY2-09-30	YYY2-09-30	
比較対象会計期間				
前事業年度開始日	YYY1-04-01	YYY1-10-01	YYY1-10-01	有価証券報告書と同様に設定
比較対象会計期間終了日	YYY1-09-30	YYY2-03-31	YYY2-03-31	
前事業年度終了日	YYY1-09-30	YYY2-03-31	YYY2-03-31	
次の四半期又は中間期の会計期間				
次の事業年度開始日	nil	nil	nil	
次の四半期又は中間期の会計期間終了日	nil	nil	nil	
提出回数	1	1	2 (※)	

※他に訂正有価証券届出書の提出が無かったとの前提

ファンドの計算期間が 6 カ月未満の場合、特定期間は 6 カ月となるので、本パターンと同様です。

3 年目以降は、2 年目と同様です。